

# 茨城県立内原特別支援学校 部活動に係る活動方針

令和6年4月

## 1 部活動の基本的な考え

- 生涯にわたって自らスポーツや芸術等を楽しむ態度を育て、将来の余暇活動につなげていく。
- 部活動をとおして、自主的・自発的に活動する力を身に付け、協力して活動する力や責任感を養う。
- 友達や教師との活動をとおして、信頼関係を深め、好ましい人間関係を築く。
- 何事にも真剣に取り組む習慣を育て、目標に向けて挑戦する気持ちを育てる。

## 2 参加対象生徒

- 自力通学者で本人が希望した生徒
- 自力通学者以外で保護者の付添いが可能な生徒  
(安全管理・事故防止上、保護者の部分的な支援を受けて活動するため)
- 「高等部生活のきまり」を遵守して生活し、部活動に対する参加意欲があると認められる生徒

## 3 活動内容

- 運動部
  - ・陸上競技、卓球、フライングディスクを中心に実施。
  - ・その他さまざまな障害者スポーツ等を中心に幅広く実施。

- 文化部
  - ・芸術（写真、書道、絵画等の活動を中心に幅広く実施。）

**※今後、部員が増加した場合、活動する競技や内容の変更等を行うことを可能とする。**

## 4 活動日・時間等

- 活動日・・・運動部：毎週金曜日の週1回を基本とする。  
文化部：毎月第1・第3金曜日の月2回を基本とする。
- 活動時間・・・1日1時間程度（15：10～16：00）とする。なお、朝の活動は行わない。
- 実施について
  - ・職員会議等、全職員がかかわる会議日、緊急の会議が設定された場合には実施しない。
  - ・現場実習（校内実習含む）及び個別面談期間中、学校行事の前日には実施しない。
- 参加について
  - ・欠席する場合は、担任を通して部活動担当者へ必ず連絡する。
- 長期休業中の実施について
  - ・実施しない。

## 5 担当教員

- 運動部・文化部：高等部職員による輪番制
- ※部活動担当以外の高等部職員は、運動部・文化部いずれかの担当となり、当番制で指導に当たる。
- ※**活動日の参加生徒数や実態に応じて指導人数を調整する。**

## 6 指導計画・通知

- それぞれの部活動担当は、年間活動計画並びに毎月の活動計画を作成する。

## 7 入退部の手順、手続き

### ○入部について

(高等部1～3年生共通)

- ・「部活動希望・継続届」により、参加意欲がある生徒を把握する。必要に応じて、各担任より個別に部活動の内容や意義・入部条件等について説明する。

(新規入部希望者)

- ①「体験入部希望届」を配付する。体験入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「体験入部希望届」を学校へ提出する。部会で検討し、校長が認める場合には、体験入部を承認する。体験入部は、運動部3回程度、文化部2回程度実施する。
- ②体験入部終了後、「部活動入部届」を保護者に配付する。入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「部活動入部届」を学校へ提出する。
- ③部会で検討し、校長が認める場合には、正式入部とし、入部承認書を保護者へ配付する。

(継続入部希望者) ※「継続入部希望者」は、前年度と同様の部活動を希望した生徒とする。

- ①「部活動希望・継続届」の提出を確認後、「部活動入部届」を保護者に配付する。入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「部活動入部届」を学校へ提出する。
- ②部会で検討し、校長が認める場合には、正式入部とし、入部承認書を保護者へ配付する。

### ○退部・転部について

- ・生徒、保護者の意思により随時退部・転部が可能である。
- ・退部・転部希望者は、保護者の承認を得たうえで、「部活動退部・転部届」を担任に提出する。
- ・部会で検討し、校長に報告する。

## 8 経費

### ○運営費

- ・なし

### ○その他

- ・活動費、大会参加等での交通費等、必要な経費については実費自己負担とする。

## 9 対外行事や大会への参加

- 生徒の経験拡充のため、対外行事や大会（マラソン大会や障害者スポーツイベント、展覧会等）への案内を行い、保護者責任の下、生徒の実態に応じて積極的な参加を促す。

## 10 けが・事故等への対応

- 日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度により対応する。
- 事故・怪我等の対応は、学校緊急対応マニュアルを基とし、対応する。
- 感染症等対策として
  - ・石けんでの手洗い、手指の消毒を励行する。
  - ・活動中は、窓を開ける等して風通しの良い空間で行うようにする。

## 11 熱中症への対応について

○運動部においては、部活動開始前に活動場所におけるWBGT指数を計測し、下記の基準の下実施する。

WBGT 指数	21℃～25℃	25℃～28℃	28℃～31℃	31℃以上
対応	<p><b>注意</b></p> <p>熱中症の兆候に注意する。運動の合間に水分と塩分の補給を行う。</p>	<p><b>警戒</b></p> <p>積極的に休息を取り、水分と塩分を補給する。 激しい運動では30分間おきくらいに休息をとる。</p>	<p><b>厳重警戒</b></p> <p>激しい運動や持久走は避ける。積極的に休息を取り、水分と塩分を補給する。 体力のない者や、暑さに慣れていない者は、運動中止とする。</p>	<p><b>運動は原則中止</b></p>

- ・熱中症が疑われるときは、保健室等の涼しい場所へ移動させ、身体を冷やすとともに、水分と電解質を速やかに補給させる。(管理職への報告)
- ・文化部においては、冷房が完備された部屋で実施する。

## 12 その他

○最低入部人数について

- ・各部とも入部生徒数が2名に満たない場合には、実施しない。

○水分補給について

- ・活動中は、適宜水分を補給し、スポーツドリンクの飲用も可能とする。

○落雷への対応について

- ・落雷の兆候がある場合は、活動を中止し、教室で待機させる。まち comi メール配信又は電話にて、保護者へ連絡する。